

【報道関係各位】

本リリースは 2024 年 6 月 26 日に本社 G-Core Labs S.A により発表されたリリースの抄訳です。

Gcore 高次元 AI ソリューション AI Content Moderation をローンチ リアルタイムオンラインコンテンツモデレーション&コンプライアンス

AI 駆動ビデオコンテンツモデレーションで

コンピュータビジョン・オプティカルキャラクタ認識・音声認識を統合、ビューアとブランドをプロテクト

ルクセンブルク：2024 年 6 月 26 日 — AI、クラウド、ネットワーク、セキュリティのグローバルエッジソリューションプロバイダ

Gcore は Gcore AI Content Moderation を発表しました。このリアルタイムソリューションで、オンラインサービスプロバイダは人工知能（AI）や機械学習（ML）の使用経験がなくても、オーディオ、テキスト、ユーザ生成ビデオコンテンツのモデレーション（投稿監視）の自動化と実施が、企業組織はユーザ保護、EU の DSA（Digital Services Act）、英国の OSB（Online Safety Bill）等の順守規定への対応が可能になります。

コメントから長尺ビデオ、UGC（ユーザ生成コンテンツ、User-Generated Content）、特にこれらに子供がアクセスできてしまう場合、に対しては、ビューアで攻撃的、暴力的、違法、年齢不相応なものを監視し制限をかける処置が必要です。この処置対応への法的責務を負う企業組織が所属する業界にはソーシャルメディア、ゲーミング、e コマース、教育、デジタル広告が一例として挙げられます。有害コンテンツをユーザに晒すことは企業組織の評価損失、法的捜査、サービス停止、運用禁止、重大罰金刑（DSA ではグローバルレベニューの最大 6%）につながりかねません。

リアルタイム AI コンテンツモデレーション

UGC が劇的に成長を続ける昨今、人手に頼るモデレーションでは有害・違法コンテンツの検知に追いつかなくなっています。莫大な量のコンテンツを投稿監視者が主導対応しきれずコストがかさみ、非効率な運用手法のせいで違反を看過してしまったり合法コンテンツ発行に遅延が生じたりという事態を招きかねません。

Gcore AI Content Moderation では、ビデオコンテンツストリームの調査確認を自動化や不適切コンテンツにフラグを立て、必要に応じ監視者に警告通知の発信が可能です。統合されている先進テクノロジーにより、ビデオやライブストリームの公開からわずか数秒で精査確認が可能可能です。

●先進コンピュータビジョン：

高次元コンピュータビジョンモデルでオブジェクト検知、セグメンテーション、クラシフィケーション実行と、不適切ビデオコンテンツに正確な検知とフラグ立て。

●オプティカルキャラクタ認識（OCR、Optical Character Recognition）：

ビデオ上で視認できるテキストをマシンリーダブル（Machine-readable）フォーマットに変換、不適切もしくは有影響・機密該当テキスト情報として監視可能対象に。

●音声認識（Speech Recognition）：

精細アルゴリズムによる追跡で、不正言語表現やヘイトスピーチを検知しフラグ立てを実行。ビデオに加え音声の投稿監視も効率的に実施。

●マルチプルモデルアウトプットアグリゲーション：

子供の利用が想定されるコンテンツ検知のケースに代表されるように、決定が複雑化しがちな場合に必要となるのがマルチプルデータポイントと異種モデルからのアウトプット。Gcore AI Content Moderation ではこれら一連のアウトプットを集約し、的確かつ安全度の高い決定を行うことが可能。



Gcore AI Content Moderation は、API 経由で組織企業の既存インフラストラクチャに統合可能、AI や ML の使用実績がなくても問題なく活用できます。180 超のエッジ PoP と 200 超 Tbps の総容量で構成する低遅延・高速・高柔軟性 Gcore グローバルネットワーク上で動作します。

Gcore Head of Video Streaming Alexey Petrovskikh コメント

“人手を介するだけのコンテンツモデレーションだけではもはや追いつかない状況です。確認作業の担当人材を追加し続け維持し続けていくことはコスト面でも現実的ではありません。Gcore AI Content Moderation であれば企業組織はコンテンツモデレーションをグローバル規模で実施できます。また、このソリューションによる投稿監視プロセスに人を介在させ、フラグが立ったコンテンツの確認作業を実施することもできます。規定順守の確立を図りながら、ユーザ、コミュニティ、そして企業評価そのものの保護—この側面で企業を支援する新しいサービスです。”

【参考資料】（英文）

製品詳細：<https://gcore.com/streaming-platform/ai-for-video>

価格設定：<https://gcore.com/pricing/streaming-platform>

ニュース～2024 年 6 月 26 日 Simplify Online Safety with Gcore AI Content Moderation：<https://gcore.com/news/ai-content-moderation/>

ニュース～2024 年 5 月ビデオストリーミングアップデート：

<https://gcore.com/news/video-streaming-updates-may-2024/>

Gcore について ～ Gcore は 2024 年 2 月に 10 周年を迎えました（参考英文記事；[Blog](#), [Linkedin Post](#)）。

Gcore はエッジ AI、クラウド、ネットワーク、セキュリティのグローバルソリューションプロバイダです。本社はルクセンブルク、600 超の従業員と世界各地に 10 の営業拠点を擁しています。Gcore の IT インフラストラクチャは自社運用、拠点は 6 大陸にまたがり、グローバル平均レスポンスタイムは 30ms、ヨーロッパ、アフリカ、LATAM における屈指のネットワークパフォーマンスを実現しています。ネットワークは Tier IV と Tier III のデータセンタに配備された世界各地の 180 超の PoP で構成され、200 超 Tbps の帯域を誇ります。

Web サイト <https://gcore.com/>

ソーシャルメディア

<https://www.linkedin.com/company/g-core/>

<https://www.youtube.com/@GCoreOfficial>

<https://www.facebook.com/gcorelabscom>

https://x.com/gcore_official

<https://www.instagram.com/gcore.official/>

G-Core Labs S.A. © 2015–2024 All rights reserved

当資料中で記載掲出の社名、ロゴ、ブランド名、製品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

同件に関するお問い合わせ先

Gcore Japan 株式会社

Marketing Manager：白石

tel:03-4567-2817/email: Japan-marketing@gcore.com

共同ピーアール株式会社

担当：栗木、仙場、峰松

email: Gcore-pr@kyodo-pr.co.jp